

平成30年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日	平成31年 3月 20日
研究・研修課題名	第11回日本静脈経腸栄養学会中国支部学術集会
研究・研修組織名 (所属)	栄養サポートセンター
研究・研修責任者名 (所属)	矢野彰三 (栄養サポートセンター)
共同研究・研修実施者名 (所属)	中村健志 (薬剤部)

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格、 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	中村健志 (薬剤部)
学会名(会期・場所、認定名等)	第11回日本静脈経腸栄養学会中国支部学術集会 2018年8月17日-18日、広島県呉市
演題名・認証交付先等	移植患者における味覚障害に対して亜鉛製剤を使用した3症例
取得日・認定期間等	

目的及び方法、成果の内容

① 目的

栄養サポート実施加算は栄養管理に係わる所定の研修を終了した専任の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士からなる栄養サポートチーム (NST) の存在が算定必須要件となっている。そのためには、学会で認定を受けた「NST 専門療法士」が各職種で登録されている必要がある。現在、当院には6名のNST 専門療法士が在籍しているが、徐々に高齢化しており、若手の増員が望ましい。

本申請の目的は、NST 専門療法士取得とする。資格取得のためには、合計40時間の実地修練を終了し、かつ、日本静脈経腸栄養学会が認める学会、地方会の参加が必須要件になる。したがって、今回の学術集会への参加は必要である。

② 方法

第11回日本静脈経腸栄養学会中国支部学術集会に栄養サポートセンターから中村健志を代表で派遣し、上記演題にてポスター発表を行った。また、今年度より、当院にて実地研修が可能となったため、NST で開催する栄養セミナーにも毎回参加・聴講した。

③ 成果

症例発表では、3症例の臍帯血移植患者の経過、味覚障害、亜鉛の検査値について提示をした。味覚障害は薬剤性が薬3割を占めることが知られているが、原因を特定することは容易でない。今回の3症例では、13、6、13種類の被疑薬が挙げられた。そのうち、全ての症例にメルファランが使用されていたこと、高頻度に味覚異常をきたす薬剤であることから、今回の被疑薬として可能性が高いことが推測された。さらに、血清亜鉛濃度にかかわらず、亜鉛製剤の投与によって、味覚異常が改善する傾向にあることも示した。たくさんの質問をいただき、的確に回答した。

実施者の中村健志は、昨年度開催された日本静脈経腸栄養学会学術総会に参加し、臨床栄養セミナーを受講していることから、本学術集会に参加することで「NST 専門療法士」の資格取得に必要な単位を満たす。また、実地研修にも参加し、一定レベルの研修を修了した。したがって、来年度には資格取得が可能と考える。

このたびは、若き「NST 専門療法士」誕生に向けサポートいただき、厚くお礼申し上げます。